

◆ 協賛イベント『第59回設備管理全国大会』のご案内 ◆

<企画にあたって>

IoT・ICT・AIなどのデジタル技術を活用し、これまで管理しづらかった情報を見える化し、設備の信頼性を更に高めることや、保全業務の生産性向上に役立つ取組みが促進されています。また、これを促進するために従来以上の保全体制・人材育成の強化に取り組む企業が増加しています。

反面、設備高経年化・高度化、自動化の促進、人手不足・技術・技能伝承の問題など、これまでと同じように設備管理を行なうことが難しい時代になってきていることも事実です

本イベントでは、このような製造現場の環境変化により、設備管理業務の変革を行なう企業の取組みを2日間に亘ってご紹介いたします。この機会にぜひご参加ください

★プログラム詳細 <http://www.jipm.or.jp/offer/docs/MA1020HP5.pdf>

=====

開催概要

=====

日時：12月12日(木)～13日(金) 両日 10:00～

会場：品川フロントビル会議室（東京都港区港南2-3-13）

※品川駅下車 徒歩5分程度

主な講演企業(順不同)：

「JFEスチール」「トヨタ自動車」「日産自動車」

「デンソー」「オークマ」「富士通」「東芝デジタルソリューション」

「クボタ」「関西ペイント」ほか、全24事例

参加料金（1名・税込み）：

【1日のみ参加】 ・会員価格：30,800円

・一般価格：44,000円

【両日参加】 ・会員価格：52,800円

・一般価格：71,500円

※会員：産業安全技術協会会員（協賛団体）/

日本プラントメンテナンス協会会員(主催団体)/

日本能率協会法人会員/その他協賛団体会員

★イベント詳細・FAX申込↓

<http://www.jipm.or.jp/offer/docs/MA1020HP5.pdf>

=====

## プログラムの一例紹介

=====

●JFE スチール 「JFE スチールの設備管理におけるデータサイエンス技術の適用状況」JFE スチールでは、データサイエンス技術の適用を積極的に進めている。本報告では、まず、当社の考えるデータサイエンスについて述べる。また、適用例として、コンベアベルトの異常検出や、熱間圧延ラインの設備の異常検出、さらには、制御故障の復旧支援における A I (watson)の適用例などを示す

●トヨタ自動車 「プロ人財育成による保全活動の取り組み」

保全の人財育成や故障低減活動に対する魔法は無い。毎日の地道な現地現物での OJT で教え込みと故障 1 件にこだわった再発防止の繰り返しで成果が出る。また、技能を活かし壊れない設備へ造り変えた改善事例と、育成したメンバー達が金をかけず、設備、機器が本来持っている機能を活かした兆候保全活動事例を紹介しします。

●クボタ

加工・組立・検査など多種多様な設備・装置の設備管理業務を推進する中で、生産台数や設備台数の増加に対し、過去のやり方のままでは保全ロス時間が増加し安定稼働、安定供給が難しい状況となった。部門の問題点を解決するために保全管理システムを導入し設備データや故障履歴、点検計画を電子化した。故障履歴の分析から再発故障案件を追究、故障原因が見える化、対策に取り組むことで保全ロス時間を削減した事例を紹介する。

=====

## 設備管理全国大会とは

=====

「設備管理全国大会」は 1960 年より毎年開催している日本最大規模の設備管理技術カンファレンスです。

今年は『第四次産業革命の設備管理を考える』をテーマとし、開催いたします。製造現場にフィットした技術レベルの高い講演を聴講いただくことで、設備管理の各課題解決の一助としていただくことを狙いとしています。

★イベント詳細・FAX 申込↓

<http://www.jipm.or.jp/offer/docs/MA1020HP5.pdf>